

豊橋ライブデモンストレーション
アフタヌーンセミナー

カテだけでは終われない 知っておくべき腫瘍循環器の現状

6/21 sat. 15:50～16:10
@ホールA



演者

佐瀬 一洋 氏

順天堂大学

座長

鈴木 孝彦 氏

豊橋ハートセンター

PCI を受ける患者に
がんの治療歴があったらどうする？

がんと循環器の両方の視点から診療する腫瘍循環器 (Cardio-Oncology) という新たな領域をご存知でしょうか。欧米から始まったこの領域への関心の高まりは、近年我が国にも及んでいます。

日本人の死因の約 1/3 を占めるがんですが、医療技術の進歩により患者の予後は改善している一方、がんに罹患した患者が、がん以外の疾患で死亡するケースが増えてきています。特に抗がん剤の多くは心臓や血管に悪影響を与え、高齢者や心血管疾患のハイリスク患者にがん治療を行うと **心不全のリスク** が高まり、また、がん患者は **血栓塞栓症のリスク** が高い上に、抗がん剤が血栓塞栓症を促進

すると言われています。そのため、がん患者が適切ながん治療を完遂し、更に中長期的にも循環器疾患で命を落すことのないように、がん専門医と循環器専門医が連携する必要性が広く考えられるようになってきました。

22日のアフタヌーンセミナーでは、日本腫瘍循環器学会の理事で、自身も希少がんサバイバーである循環器専門医の佐瀬一洋氏（順天堂大学）を招き、腫瘍循環器領域の現状やカテール治療医が知っておくべき情報を解説いただきます。専門知識をより一層深めたいとお考えの先生方のご参加をお待ちしています。